

インターネット上のコミュニケーションの特徴について

メールや無料通話アプリ、SNSなど、インターネットには便利なコミュニケーションサービスがあります。このようなサービスを日常的に使っている人も多く、私たちの生活にすっかり定着しています。しかし、インターネット上のコミュニケーションには、対面のコミュニケーションとは違った特徴があります。上手に使いこなすためには、その特徴をしっかりと理解しておくことが大切です。

便利な反面、誤解が生まれやすいという欠点も……

インターネット上のコミュニケーションの利点は、「離れた場所にいる相手とも手軽にやりとりができる」「やりとりの内容を忘れても、あとから見返すことができる」といったことがあげられます。

その反面、インターネット上のコミュニケーションには欠点もあります。それは、誤解が生まれやすいという点です。

インターネット上のコミュニケーションは、顔の見えない相手との文字のやりとりです。対面で会話するときと違い、相手の表情や仕草、声のトーンなどの情報がありません。つまり、文字だけで相手の気持ちを読み取らなくてははいけないのです。

そのため、微妙なニュアンスが伝わりづらく、対面の会話と同じ感覚でやりとりをしていると誤解が生じてしまうことがあります。

インターネット上のコミュニケーションで誤解が生じてしまった例

The illustration shows a conversation between B (female) and D (male) via text messages. B's messages are: '私も図書館での勉強会に行くことになったよ!' and 'なんでそんなこと言うの? もういい'. D's messages are: 'なんで来るの?' and 'このやりとりでは、D男は「どんな手段（電車やバス、自転車など）を使って図書館に来るの?」というつもりで、「なんで来るの?」と送ったのですが、B子は「なんでB子も来るの?（来ないでほしい）」と言われたとかんちがいて、怒ってしまいました。'. A teacher character with a pointer is also present, pointing towards the text box on the right.

B子

私も図書館での勉強会に行くことになったよ!

なんで来るの?

なんでそんなこと言うの? もういい

D男

このやりとりでは、D男は「どんな手段（電車やバス、自転車など）を使って図書館に来るの?」というつもりで、「なんで来るの?」と送ったのですが、B子は「なんでB子も来るの?（来ないでほしい）」と言われたとかんちがいて、怒ってしまいました。

誤解が生まれやすいというインターネット上のコミュニケーションの特徴を頭にいれ、インターネットを使ってやりとりするときは、相手に誤解されそうな表現がないか、必ず確認してからメッセージを送るようにしましょう。